



2011年3月11日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック  
代表者名 代表取締役社長 福永 健司  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
問合せ先 取 締 役 坂本 珠美  
(電話番号 078-306-0590)

### 株式会社免疫生物研究所との包括的業務提携に関するお知らせ

当社と株式会社免疫生物研究所(以下、免疫生物研究所)(代表取締役社長:清藤勉、群馬県藤岡市)は、2011年3月11日開催の取締役会において、両社の持つ経営資源および技術を相互に活用することによる事業基盤の強化と将来に向けた持続的な事業発展を目的として、包括的な業務提携を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 包括的業務提携の目的

当社は1998年に設立し、熊本大学発バイオベンチャーとして、遺伝子破壊マウス等による創薬支援を目的としており、独自のトラップマウス技術を基軸とした遺伝子破壊マウス事業を展開すると共に、GANP®マウス技術を用いて、診断薬に繋がる抗体開発に取り組み、疾患の病因・病態解析に有用なツールを提供することで、社会に貢献することを目指しております。

一方、免疫生物研究所は1982年に設立され、医薬品及び医薬部外品の免疫学的研究、開発、製造及び販売を目的としており、一貫して「抗体」を中心に研究を行い、成果を事業化しており、免疫学の研究を通じて難病を克服し、社会に貢献することを目指しております。

両社は、この度の本業務提携により、基幹技術の相互補完、開発シーズの情報共有、相互の国内外販売網の共有等により、相乗効果を発揮し、一層の発展を遂げることが期待できると考えております。

#### 2. 包括的業務提携の内容

当社が有する GANP®マウス技術や遺伝子破壊マウス技術と、免疫生物研究所が有する抗体作製技術や抗体シーズ情報を融合させ、有用な研究用試薬としての抗体開発を行います。また、相互に両社の国内外販売網を共有することにより、売上拡大を図ります。

#### 3. 包括的業務提携先の概要

①	名称	株式会社免疫生物研究所
②	所在地	群馬県藤岡市中字東田1091-1
③	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 清藤 勉
④	事業内容	医薬品並びに医薬部外品の免疫学的研究、開発、製造及び販売、受託研究及び受託生産、実験動物の開発、販売、その他
⑤	資本金	1,571百万円
⑥	設立年月日	1982年9月 9日
⑦	発行済株式数	616,400株

⑧	決算期	3月31日		
⑨	従業員数	66名（平成22年12月31日現在）		
⑩	主要取引先	第一三共(株)、岩井化学薬品(株)		
⑪	主要取引銀行	群馬銀行藤岡支店、みずほ銀行高崎支店、東和銀行藤岡支店		
⑫	大株主及び持株比率 (平成22年9月30日現在)	清藤 勉 112,130株 (18.19%) 岩井化学薬品(株) 20,000株 (3.25%) 栄研化学(株) 12,500株 (2.03%)		
⑬	当事会社間の関係			
	資本関係	当社は当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。		
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。		
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。		
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
⑭	最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	平成22年3月期	平成21年3月期	平成20年3月期
	純資産	2,154百万円	2,385百万円	2,892百万円
	総資産	2,376百万円	2,611百万円	3,163百万円
	1株当たり純資産(円)	3,495円	3,869円	4,691円
	売上高	1,059百万円	1,036百万円	1,288百万円
	営業損失	△185百万円	△382百万円	△210百万円
	経常損失	△189百万円	△389百万円	△208百万円
	当期純損失	△230百万円	△496百万円	△236百万円
	1株当たり当期純損失(円)	△373円	△806円	△383円
	1株当たり配当金(円)	—	—	—

#### 4. 日程

- 平成23年3月11日 当社取締役会決議  
平成23年3月11日 業務提携契約締結  
平成23年3月下旬 個別業務に係わる契約締結及び新事業開始（予定）

#### 5. 今後の見通し

現在、新事業の開始に向け業務プロセスの整備に取り組んでおりますが、本業務提携の業績への影響につきましては、事業開始後の進捗状況に応じて適宜お知らせいたします。

以上